

仕 様 書

1. 件 名 財務会計システム用サーバ等機器保守及び運用支援業務
2. 概 要 本業務は、現在運用中の財務会計システムに係るサーバ及び財務会計システムサーバ用L4スイッチの保守並びに安定稼働のための運用支援業務を行うものである。
3. 履行場所 茨城県つくば市大わし1-1
国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター
4. 履行期間 平成31年4月1日から平成32年3月31日まで(12ヶ月)
5. 対象機器 財務会計システム用サーバ2台(仮想マシン4台)、管理用PC、周辺機器及び無停電電源装置、財務会計システム用L4スイッチ(内訳は別紙1のとおり)

6. 業務内容

1 (財務会計システム用サーバ2台、管理端末、周辺機器及び無停電電源装置) 保守業務

- ・対象機器に障害が発生した場合には、問題が対象機器にあるか、他の原因であるかの切り分け作業を行うこと。
- ・対象機器に障害が発生した場合には、速やかにベンダーへの連絡、修理または交換作業およびベンダー作業の完了確認を行うこと。なお、機器のベンダーが提供する保守については、当センターが別途契約済みである。
- ・対象機器に含まれるソフトウェアに対し、製品の動作不具合に関する問い合わせへの対応、対策ソフトウェアの提供、適用を行うこと。
- ・更新対象となっているソフトウェアについては、1年分の使用権を提供すること。
- ・「別紙2：定期点検項目」に示す内容で、対象機器の定期点検を契約期間内に2回行うこと。実施時期は、事前に書面等で担当者に通知するものとし、日程および作業内容の確認を受けること。
- ・定期点検実施時に、サーバの設定情報および動作状態(ログ)の収集を行い、異常がないか確認した上で財務会計システムサーバ上に保存すること。
- ・定期点検完了後、作業結果を示した報告書を作成し提示すること。
- ・業務時間は、月～金曜日の午前8時30分から午後5時15分内とし、土、日曜日及び国民の休日、年末年始<12月29日～1月3日>を除く。

2 (財務会計システム用サーバ2台、管理端末、周辺機器及び無停電電源装置) 運用支援業務

- ・対象機器についての問い合わせ対応を行うこと。問い合わせは、メール、電話及びFAXで対応すること。
- ・対象機器の製品開発元ならびにJPCERT/CC等から最新の脆弱性情報を把握すること。把握

した脆弱性の中に本システムに該当する緊急かつ重大な事項を発見した場合は、対処の要否、可否を適切に判断するとともに、速やかに担当者に報告し、担当者の判断に従って必要な対処を行うこと。その上で、対処したものについては対処方法、対処しなかったものについてはその理由、代替措置およびその影響をまとめ記録するとともに、担当者に報告すること。

- ・財務会計システム用サーバ上で稼働する仮想マシンのオペレーティングシステム (Windows) に対して、セキュリティパッチの適用作業を履行期間中に月 1 回 (年 1 2 回) 行うこと。

- ・財務会計システム用サーバ上で稼働する仮想マシンのオペレーティングシステム (Linux) に対して、セキュリティパッチの適用作業を履行期間中に年 2 回行うこと。なお、適用時期は担当者との協議のうえ定めるものとし、セキュリティパッチの適用に当たっては、担当者を通じてアプリケーションソフトウェアの開発元 (株式会社 NTT データアイ) に確認を行い、開発元の検証が取れたパッチを適用すること。また、本作業実施前には、仮想マシンのシステムバックアップを管理用 PC 経由で USB 接続のハードディスクに取得すること。取得したバックアップは、セキュリティパッチ適用時に必要に応じて利用すること。バックアップファイルは最新 (各サーバで稼働中のシステムイメージ) を含めて 3 世代以上を保存することとし、担当者との協議のうえディスクの空き容量に応じて削除して良い。

- ・システムバックアップを取得するため、管理用 PC に USB 接続が可能な専用のハードディスクドライブを 2 台用意すること。当該ディスク容量は各 2 TB 以上とする。

- ・仮想マシン 4 台のログ (シスログ・アクセスログ・イベントログ) を年 2 回取得し、管理用 PC のディスク上に 6 ヶ月間以上保存すること。新規ログを取得した時点で、担当者へ確認のうえ、保存期間が 6 ヶ月を超えたログを管理用 PC から削除すること。

- ・「別紙 1 : 保守対象機器一覧」の更新対象となっているソフトウェアのライセンス更新作業を行うこと。

- ・管理方法についての研修を年 1 回行うこと。実施時期については担当者との協議のうえ定めること。

- ・本契約内の対応状況について、月次報告書を提出すること。

- ・業務時間は、月～金曜日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分内とし、土、日曜日及び国民の休日、年末年始<12月29日～1月3日>を除く。

3 (財務会計システム用 L 4 スイッチ) 保守業務

- ・財務会計システム用ネットワークに障害が発生した場合には、問題が対象機器にあるか、他の原因であるかの切り分け作業を行うこと。

- ・対象機器に障害が発生した場合には、速やかにベンダーへの連絡、修理または交換作業およびベンダー作業の完了確認を行うこと。

- ・対象機器について、機器のベンダーが提供する保守を 1 年間付与すること。

- ・業務時間は、月～金曜日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分内とし、土、日曜日及び国民の休日、年末年始<12月29日～1月3日>を除く。

4 (財務会計システム用 L 4 スイッチ) 運用支援業務

- ・対象機器についての問い合わせ対応を行うこと。問い合わせは、メール、電話及び FAX で対

応すること。

- ・当該スイッチに重大なセキュリティホールが発見された場合は、メーカー提供の新たなファームウェアを速やかに適用すること。
- ・原則として年1回、当法人の要請によりアクセスフィルタリング設定の変更を行うこと。
- ・設定情報の履歴管理を行うこと。
- ・業務時間は、月～金曜日の午前8時30分から午後5時15分内とし、土、日曜日及び国民の休日、年末年始<12月29日～1月3日>を除く。

5（財務会計システム用管理PC）アップグレード業務

- ・対象機器について、2019年9月末日までにそのOSをMicrosoft Windows 7 ProfessionalからMicrosoft Windows 10 Professionalへアップグレードする作業を行うこと。
- ・アップグレードに必要なOSライセンスは受注者が用意すること。
- ・現行OS上で稼働しているアプリケーション等を調査し、アップグレード後も同様に利用できるようにすること。Microsoft Windows 10 Professionalに対応していないアプリケーションがあった場合は、担当者と協議し対応を決定すること。
- ・現行OS上で稼働しているJavaソフトウェアについては、当センターより支給する有償ライセンスをインストールすること。
- ・OSは原則としてアップグレード前の設定を維持すること。作業実施前に現行及びアップグレード後の設定内容を担当者へ提示し、承認を得ること。
- ・OS設定ではセキュリティ対策に必要な設定を含めること。現行OSとは製品仕様が異なる部分を考慮し、適切な設定とすること。
- ・アップグレード作業前に、対象機器に保存されている財務会計システム用サーバのバックアップファイルやログファイルをバックアップ専用のハードディスクドライブへコピーし、保全すること。
- ・アップグレード作業終了後は設定内容を記した報告書（パラメータシートを含む）を提出すること。

※免責事項

- ・財務会計システムクライアントのセットアップおよび財務会計システム以外の環境設定
- ・当初設定した機能の改修および機能追加
- ・消耗品の交換および補充（UPSのバッテリー等）

7. セキュリティ体制

- ・本業務の実施において、情報セキュリティを確保するための体制を整えること。
- ・情報漏洩等のセキュリティインシデント発生を防ぐため、作業は当センター内で行うこと。リモート作業は不可とする。
- ・本業務の実施のために担当者から提供を受けた情報および本業務の実施により知り得た当センターに係る情報については、当センターが定める情報の格付けに従って適切な管理

を行い、その秘密を保持するとともに、担当者の許可なく本業務以外の目的のために使用しないこと。

- ・当センターの保有する情報について、本業務の実施のために提供又は許可を受けたもの以外にアクセスしないこと。

- ・本業務の実施において、担当者が重要と判断した情報については、担当者の指示に従い、相互に安全な方法で受け渡しを行うこと。

- ・当センターが提供した情報について、担当者が、受注者に不要になったと判断した場合は、これを確実に返却、廃棄又は抹消すること。

- ・本業務の実施において、情報セキュリティの侵害又はそのおそれがある場合には、速やかに担当者に報告を行うこと。

- ・実施において、情報セキュリティ対策の履行状況を確認するために、担当者は、受注者に対し、本仕様書において求める情報セキュリティ対策の実績について、随時報告を求めることができる。

- ・上記の報告に基づき、情報セキュリティ対策の履行が不十分である可能性を担当者が認めた場合は、双方で協議を行い合意した対策をとること。

- ・本業務またはその一部を他の事業者に行わせる必要が生じた場合には、担当者の承認を得た上で行わせることとする。この場合においては、担当者が本仕様書で求めたものと同水準の情報セキュリティを確保するための対策を該当する事業者を求めること。また、担当者は、この情報セキュリティ対策と実施状況について報告を求めることができる。

- ・当センターにおいて作業を行う場合には、事前に作業員名簿および作業スケジュールを担当者に提出し、承認を得ること。(12)本業務の実施において「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)の内容を遵守し遂行すること。

8. その他

- ・本仕様書について疑義が生じた場合は、担当者と受注者が協議のうえ定めるものとする。

担当者：総務部財務課調達第1係 TEL029-838-6326

〃 〃 調達第2係 TEL029-838-6327

- ・指示の詳細及び連絡事項については、担当者と打合せを行うこと。

- ・本業務上知りえた情報は、業務期間中はもとより、業務期間終了後においても第三者に無断で使用・公開・提供しないこと。

- ・財務会計システムサーバ上で動作する財務会計システムソフトウェアに支障をきたさないよう、開発元との十分な調整の上で、業務を実施すること。

別紙1：財務会計システム 保守対象機器一覧

No	機器名	品名	数量	保守契約*	更新
財務会計システム用サーバ					
1	財務会計システム用サーバ	Dell PowerEdge T630	2	—	○
2	仮想化基盤ソフトウェア	VMware vSphere 6 Essentials Kit for 3 hosts(Max 2 CPUs per host)	1	—	○
3	APサーバ/DBサーバ/バッチサーバ用オペレーティングシステム	Red Hat Enterprise Linux Server (2 ソケット or 2 ゲスト)	2	—	○
4	乗換案内サーバ用オペレーティングシステム	WinSvrStd 2012R2 OLP NL Gov 2Proc	1	—	—
5	乗換案内サーバ接続用Windows CAL	WinSvrCAL 2012 OLP NL Gov User CAL	4	—	—
6	ウィルス対策ソフトウェア (APサーバ/DBサーバ/バッチサーバ/乗換案内サーバ/管理用PC)	Symantec Endpoint Protection 12.1	5	—	○
周辺機器					
7	KVMスイッチ	Dell DAV2108 8-ポート analog, upgradeable to digital KVM スイッチ (1 local user付き), 1 電源ユニット	1	○	—
8	KVMケーブル	Integrated Access Cable for the Dell DAV2108 & DAV2216	1	—	—
無停電電源装置					
9	無停電電源装置	APC Smart-UPS 2200 LCD 100V	1	—	○
10	無停電電源装置用ネットワークカード	Network Management Card 2	1	—	○
11	電源管理ソフトウェア	PowerChute Network Shutdown 1 Node Virtualization	2	—	—
管理用PC					
12	管理用PC	Dell OptiPlex 3020 スモールフォームファクタ CTO	1	—	○
L4スイッチ					
13	L4スイッチ	Catalyst 3560X 24 Port Data IP Base	1	—	○

* 保守契約：当センターがベンダーの保守を契約済みであるものに○

更新：本仕様に従い、受注者が調達する必要があるものに○

別紙 2 : 定期点検項目

1. 財務会計サーバ

① 健全性ステータスの確認

健全性ステータスで下記に異常がないことを確認する。

- ・ CPU
- ・ メモリ
- ・ ストレージ・RAID コントローラ
- ・ 電源・ファン

② DVD-ROM 装置

正常に読み込みできることを確認。

③ クリーニング

筐体外部・DVD ドライブ・コネクタ部に塵埃が認められた場合は、クリーニングを実施。

2. 仮想サーバ (Linux)

① OS・CPU・メモリ

システムにエラーが出力されず、正常に起動していることを確認。

② ディスク

オペレーティングシステム上から、正常に書き込み、読み込みができることを確認。さらに、コマンドにてシステムから正常に認識されていることを確認。

③ ネットワークインタフェース

コマンドにより、ネットワークインタフェースが機能していることを確認。

④ 設定情報および動作状態

下記の項目についての情報を収集し、サーバ上に保存。

- ・ 動作ログ
- ・ 設定ファイル
- ・ パッケージ情報
- ・ 稼働状態

3. 仮想サーバ (Windows)

① OS・CPU・メモリ

システムにエラーが出力されず、正常に起動していることを確認。

② ディスク

オペレーティングシステム上から、正常に書き込み、読み込みできることを確認。

③ ネットワークインタフェース

コマンドにより、ネットワークインタフェースが機能していることを確認。

④ 設定情報および動作状態

下記の項目についての情報を収集し、サーバ上に保存。

- ・ 動作ログ

4. 周辺機器

① KVMスイッチ

コンソール切替が正常に行われることを確認。

② クリーニング

筐体外部・コネクタ部に塵埃が認められる場合は、クリーニングを実施。

5. 無停電電源装置

① 本体・出力容量

エラー表示等がなく、接続機器に電源が供給されていることを確認。

② クリーニング

筐体外部・コネクタ部に塵埃が認められる場合は、クリーニングを実施。

6. 管理用PC

① OS・CPU・メモリ

システムにエラーが出力されず、正常に起動していることを確認。

② ディスク

正常に書き込み、読み込みできることを確認。

③ DVD-ROM装置

正常に読み込みできることを確認。

④ 17インチモニタ

画面表示が正常になされることを確認。

⑤ ネットワークインタフェース

コマンドにより、ネットワークインタフェースが機能していることを確認。

⑥ 財務会計サーバの仮想化基盤ソフトウェア用コンソールが正常に起動することを確認。

⑦ クリーニング

筐体外部・DVDドライブ・コネクタ部に塵埃が認められた場合は、クリーニングを実施。